

公益財団法人ソニー音楽財団
(S o n y M u s i c F o u n d a t i o n)

2020年度 事業報告書
(2020年4月1日～2021年3月31日)

I. 方針

当財団の2020年度事業は、「こども音楽フェスティバル」を核とした新規事業の実行及び既存事業の拡大・発展を計画していましたが、新型コロナウイルスにより各種事業の中止・延期を余儀なくされました。

対して「ソニー音楽財団 新型コロナウイルス対策特別支援プロジェクト」を立ち上げ、音楽に接する機会を失った子どもや困窮する演奏家を支援する施策の実施を通して、当財団の社会的評価をより一層高めるべく努めました。

II. 事業

公益目的事業1. 音楽、オペラ、舞踊等の普及向上事業

(1) Concert for KIDS～0才からのクラシック®～ Concert for KIDS～0才からの鼓童～

「生まれた赤ちゃんにも生のクラシックを聴かせたい」、「ぜひ生まれた子供と一緒に聴けるコンサートに行きたい」というお客さまの声から1999年に誕生した、未就学児とその家族を対象としたクラシック・コンサートです。

出演者はピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルート、トランペット、トロンボーン、マリンバ、弦楽カルテット、オペラ歌手や童謡歌手など多岐に渡り、地域やホールに合わせ、さまざまな内容・構成で開催しています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、浦安音楽ホール公演以外の公演は中止となりました。

【日程及び会場】2020年～2021年

7月 1日 (水)	[東京]	台東区生涯学習センターミレニアムホール	※中止
8月 1日 (土)	[三重]	津市久居アルスプラザ	※中止
12月26日 (土)	[東京]	秋川キララホール	※中止
3月 6日 (土)	[神奈川]	青葉区民文化センター フィリアホール	※中止
3月13日 (土)	[千葉]	浦安音楽ホール (1日2公演)	

(2) 子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズ 10代のためのプレミアム・コンサート

子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズは、2004年より始まりました。これまでにニューヨーク・フィル、ベルギー王立歌劇場（モネ劇場）、パリ・シヤトレ座、イ・ムジチ合奏団、ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団、ファジル・サイ、フランス国立リヨン歌劇場管弦楽団、ニコラウス・アーノンクール&ウィーン・コンツェントウス・ムジクス、シモン・ボリバル・ブラス・クインテット、鼓童、ロンドン交響楽団など世界に名だたる演奏団体・演奏家たちによる公演を開催してきました。その後小学生から10代を対象として30周年事業として立ち上げた「10代のためのプレミアム・コンサート」にシリーズを統合し、開催しています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止しました。

パーヴォ・ヤルヴィ&N響「カルメン」鑑賞・特別体験プログラム ※中止

【日程及び会場】

2020年9月6日（日） [東京都] Bunkamura オーチャードホール 他
出演：パーヴォ・ヤルヴィ（指揮） ヴァルドゥイ・アブラハミヤン（カルメン）
新国立劇場合唱団（合唱） NHK 交響楽団（管弦楽） 他

（3）MIKIMOTO 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート

毎年東京とそれ以外の地域で複数回開催している本コンサート・シリーズは1990年よりスタートし、25年を超えて継続開催しています。コンサートによって得た収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血のための血液を運搬する献血運搬車の購入・整備資金へと充てられます。いつでも、どこでも、誰にでも必要なだけの血液が滞り無く届けられるよう、日々の運搬車の整備には細心の注意が払われていますが、現時点では十分な数の運搬車が確保出来ているとはいえない状況です。本コンサートでは、寄付活動を通じて、より献血に対する意識を高めるための広報活動の一端も担っているものです。今年度は感染症対策を万全とし、東京と大阪にて開催しました。

【日程及び会場】

第63回 大阪公演

2020年12月17日（木） [大阪府] 住友生命いずみホール

出演：庄司紗矢香、ヴィキングル・オラフソン

第64回 東京公演

2021年1月23日（土） [東京都] サントリーホール

出演：原田慶太楼、村治佳織、東京都交響楽団

（4）ソニー音楽財団 災害復興支援プロジェクト

2011年度から2017年度まで東日本大震災復興支援プロジェクトの柱として開催した「小・中・高校生のための『第九』チャリティ・コンサート」は毎年12月に開催、チケットを購入することによって子どもたちもチャリティに参加できるコンサートで、チケット収入の一部と公演当日の募金を被災した子どもたちの支援に役立てることを目的としています。

2018年度より対象を東日本大震災に限らない災害復興支援とし、また企画内容をリニューアルし、子どもたちが演奏に参加できる施策と連動したコンサート「小・中・高校生とともにおくる『第九』チャリティ・コンサート」を開催しています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止しました。

ソニー音楽財団 災害復興支援プロジェクト

小・中・高校生とともに贈る「第九」チャリティ・コンサート in 仙台 ※中止

【日程及び会場】

2021年3月14日（日） [宮城県] 仙台銀行ホール イズミティ 21

出演：仙台フィルハーモニー交響楽団 他

(5) T h a t ' s クラシック！

未就学児以外の全ての世代において、クラシック音楽初心者でも楽しめる、解説及び演出つきのコンサートを、中期事業計画に基づき2019年度より開始いたしました。来場者がよりクラシック音楽を身近に感じ、理解を深めることができるよう、レクチャー的要素を取り入れ、演奏時には、特殊な照明効果や観客の演奏への参加など、これまでのクラシックの常識を打ち破る刺激的な視覚的演出を実施いたします。小規模会場から野外コンサートまで、会場や開催地の特性を活かした多彩なプログラムで構成し、テーマに応じて、ワークショップやお客様の参加コーナー、映像演出などを導入します。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止しました。

【日程及び会場】

2021年3月30日（火） [東京都] Bunkamura オーチャードホール ※中止

出演：川瀬賢太郎、東京フィルハーモニー交響楽団 他

(6) D r e a m S e a t s / 子ども音楽新聞

D r e a m S e a t s は、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団等の定期公演などを、小学生から高校生までの青少年とその保護者へ安価に販売しています。子ども向けに作られた公演ではなく、大人と一緒に通常の演奏会を楽しんでもらうために提供している企画です。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、取り扱いを中止しました。

また、演奏会に出かける日までのモチベーションを高め、興味を持続させるため「子ども音楽新聞」を発行し、音楽や演奏家、作曲家についての豆知識を案内しています。

今年度は生誕250年を迎えたベートーヴェンをテーマに、計1刊を発行しました。

(7) こども音楽フェスティバル

当財団の中期事業計画の要として、対象を子どもとその家族に特化した世界最大級のクラシック音楽の祭典「こども音楽フェスティバル」の開催を計画しました。

このフェスティバルは、子どもの年齢に合わせて趣向を凝らしてプログラムされたコンサートやイベントを同時に多数開催し、クラシック音楽を一日中余すところなく楽しめるイベントです。次世代を担う子どもたちの将来が音楽と寄り添い、心豊かなものとなることを願って、クラシック音楽とのさまざまな出会いを演出いたします。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止しました。

【日程及び会場】

2020年7月17日(金)～7月21日(火) ※中止

[東京都] サントリーホール大ホール、ブルーローズ(小ホール)ほか周辺施設

出演：小林研一郎、小山実稚恵、堤 剛、原田慶太楼、宮田 大 他

主催：公益財団法人ソニー音楽財団 / 公益財団法人サントリー芸術財団

公益目的事業2. 国際的コンクール等の開催事業、芸術家の顕彰事業及び芸術家の研鑽に対する助成事業

(1) 齋藤秀雄メモリアル基金賞

2002年度に創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」はチェリスト・指揮者・教育者として高名な故・齋藤秀雄(1902-1974)氏に因むものです。

2000年3月17日に齋藤秀雄氏未亡人・齋藤秀子氏が90歳で逝去され、氏の遺言公正証書第参条に「財団法人ソニー音楽芸術振興会(現・公益財団法人ソニー音楽財団)は、遺贈された財産で振興会の中に『齋藤秀雄メモリアル基金』を設け、この基金により若手チェリスト、指揮者の発掘、育成を目的とした顕彰制度を実施して下さい。」と記載がありました。

これは、その十数年前、同家の資産運用の相談を受けた当財団初代理事長・故大賀典雄が同家の資産を買取った経緯があり、そのことに因ると思われます。齋藤秀子氏の遺言執行者である中央三井信託銀行から当財団に、306,483,968円の遺贈金が寄せられました。

当財団理事会、評議員会で審議の上、齋藤秀子氏の生前の希望により、大賀が小澤征爾氏(指揮者)、堤剛氏(チェリスト)とも協議した結果、この遺贈金は「齋藤秀雄メモリアル基金」として運用することになりました。この基金の利息収入により2002年度から毎年度「齋藤秀雄メモリアル基金賞」を授与することが決定しました。

2011年度に一部規則改定し、広く業界から候補者に関するご意見を伺い、新た

に任期制選考委員 3 名に加わっていただき選考を行い、理事会にて決定しています。
当賞の内容は以下の通りです。

今年度はチェロ部門を新倉瞳が受賞、指揮部門は該当者なしとなりました。

1. 名称

「齋藤秀雄メモリアル基金賞」

2. 選考対象

音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者。

チェリストと指揮者を各々 1 年度に 1 人顕彰することを原則とする。

但し、適切な該当者がいない場合は顕彰しない。

3. 選考方法

音楽関係者からの意見等を参考に、選考委員会で、選考委員が候補者を選出し、全員で選考の上、受賞者を選定し、理事会において決定する。

選考委員会は、顕彰年度の上半期に開催することを原則とする。

4. 選考委員の選定

(永久選考委員)

永久選考委員は以下の通りとする。

永久選考委員：小澤 征爾 氏 (指揮者)

堤 剛 氏 (チェリスト)

(任期制選考委員)

上記永久選考委員以外に任期制の選考委員を 3 名置く。任期制選考委員は理事会に於いて選任し、任期は 3 年とする。任期制選考委員に欠員が生じた場合には、理事会に於いて後任を定める。

5. 賞

・楯

・賞金 当該年度毎に 1 人 5 0 0 万円 (総額 1, 0 0 0 万円)

6. 受賞者発表時期、方法

顕彰時期を考慮して、当該年度毎に適切な発表時期を定める。受賞者はマスコミに公表し、当財団ホームページでも公表する。

7. 顕彰時期

当該年度毎に適切な時期を定める。

8. 主 催：公益財団法人ソニー音楽財団
特別協力：公益財団法人サイトウ・キネン財団
セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会

(2) 「齋藤秀雄メモリアル基金賞」受賞者に対する支援

2002年より創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」では毎年、1名ずつの若手チェリストと指揮者を顕彰しています。この賞の更なる意義を深めるために、この賞を受賞された演奏家達に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。

今年度は、2018年チェロ部門を受賞した伊藤悠貴によるコンサートを、東京・春・音楽祭との共催にて開催しました。

東京・春・音楽祭

伊藤 悠貴(チェロ) 齋藤秀雄メモリアル基金賞 受賞記念コンサート

【日程及び会場】

2021年3月25日(木) [東京都] 上野学園 石橋メモリアルホール

出演：伊藤 悠貴(チェロ)、渡邊 智道(ピアノ)、中村 愛(ハープ)

主催：東京・春・音楽祭実行委員会 / 公益財団法人ソニー音楽財団

公益目的事業3. 子供への音楽を通じた教育活動に対する助成事業

(1) ソニー音楽財団 子ども音楽基金

日本でも7人に1人の子どもが貧困(厚生労働省「2016年国民生活基礎調査」)であることが問題視される中、経済的理由をはじめとした、さまざまな背景により音楽活動がままならない子どもたちへ、2019年にその活動を支援する「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」を中期事業計画に基づき設立いたしました。

原則として18歳未満の子どもに音楽を通じた教育を行う団体の活動を対象に、外部識者による選考委員会による選考を行い、理事会にて決定いたします。

今年度より2021年度分を対象に公募を行い、計12の団体の活動を採択し、総額10,366,620円の支給を決定しました。

(2) ソニー音楽財団 新型コロナウイルス対策特別支援プロジェクト

公益財団法人ソニー音楽財団は、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響を受けている、子どもたちに向けたクラシック音楽教育の振興活動を行う団体および若手演奏家を支援するため、支援総額5,000万円の「ソニー音楽財団 新型コロナウイルス対策特別支援プロジェクト」を立ち上げました。

このプロジェクトを通して、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が困難になってしまっている「音楽を通じた教育活動に取り組んでいる団体」への支援、そして、活動休止を余儀なくされて表現の場を失い、経済的にも困窮している「若手演奏家」への支援を以下3つの施策に沿って実施しました。

1. 「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」新型コロナウイルス被害支援

音楽を通じた教育活動に取り組んでいる団体への支援として、1件につき最大50万円を支給し、この度のコロナ禍における活動の継続を支えることを目的として実施し、結果27団体に対し、1団体につき最大50万円、計810万円の助成金を支給しました。

2. 子どもたちを対象に活動する若手演奏家への支援金

若手演奏家への支援として、子ども向けのクラシック・コンサート等の中止による収入の減少を補填し、今後も活動を継続していくことができるよう、一律10万円を支給。結果187名に対し計1,870万円の支援金の支給を行いました。

3. 子ども向けクラシック音楽配信企画を通じた若手演奏家への支援

若手演奏家の新たな表現の機会の創出のため、“Withコロナ”を見据えた新しい子ども向けのクラシック音楽コンテンツの配信企画を公募し、採用となった企画に対し、懸賞金として50万円を支払います。

結果、応募総数550件に対し23件を採用、計1,190万円の懸賞金の贈呈と1,000万円規模の制作サポートを決定しました。動画公開は2020年12月22日よりスタートし、順次公開を継続しています。

(以上)